



第4期市川市教育振興基本計画

～次のような方針を掲げています～

- 方針1** 子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進
- 方針2** 学びの質の向上と学びの保障の実現
- 方針3** ともに支え合う学びの環境整備

■発行
市川市教育委員会
■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

令和7年度 教育行政運営方針

～新年度の重要な取組の一部を紹介します～

令和7年2月の市川市議会定例会において、勝山教育長が令和7年度の教育行政運営方針を述べました。
100年という人生を充実させるため、就学前教育から社会人の学び直しに至るまでの生涯にわたる学びの一環として、学校や各生涯学習施設の利活用を一層図り、人生100年時代の教育の姿を具現化していくとともに、安全・安心な学校づくりを目指していきます。

子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進

- ・コミュニケーション能力や問題解決能力を育み、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら、探究的な学習を進めて、授業改善を行います。
- ・国語力を定着させ、言語能力を高め、読書教育に、より力を入れます。
- ・就学前期から小学校・中学校まで一貫した教育を進めます。
公立私立の幼稚園教諭と保育士、小学校教職員の相互理解を深めて、有機的な幼保小一貫教育に取り組めます。
- ・基本的な生活習慣の定着や体力の向上に努め、「生きる力」を育てます。

「学びの質の向上」と「学びの保障」の実現

- ・不登校や不登校傾向にある児童に寄り添い、子ども達がいつでも安心して過ごせる校内の居場所として、校内教育支援センター「スペシャルサポートルーム」を小学校全校に設置します。
- ・子どもへのきめ細かな支援が行えるよう、各学校に「みらいサポーター」を配置します。
- ・部活動の地域展開を進めつつ、教職員の業務の適正化を図ります。学校の自主的・自律的な運営を目指し、学校運営支援予算の創設や学校の事務機能の強化を図り、教育活動の支援につなげます。
- ・学校教育施設、生涯学習施設の環境づくりを進めます。

ともに支え合う学びの環境整備

- ・学校運営協議会や地域学校協働本部一層の充実と活用を進めます。
- ・公民館、博物館、図書館の活用をとおして、地域の身近な学習拠点として多様な学びの場を提供します。
- ・国府の歴史的価値の普及に努めるため、全国国府サミットを開催します。
- ・貴重な歴史的な文化遺産を守り伝えていくため、下総国分寺跡附北下瓦窯跡の整備基本計画を策定します。
- ・市内所在の文化財などの地域資源を活用した教育を展開します。

【教育総務課】

小中一貫型小学校・中学校の教育

～「東国分爽風学園」、「信篤三つ葉学園」の小中一貫教育の取組～

「小中一貫型小学校・中学校」は、正式な学校名や校舎などを今までと変えることなく、義務教育学校に準じた形で9年間の教育を一貫して行う学校です。今年度の主な取組についてご紹介します。

東国分爽風学園

今年度で4年目となる東国分爽風学園では、これまで積み重ねた小中一貫教育の知識や経験を生かし、児童生徒が主体となった小中の連携活動や教職員同士の交流活動を進めています。

今年度の新たな児童生徒間の取組として、「オンライン給食交流会」を実施しました。この取組は、中学校生徒会と小学校代表委員会のオンライン交流会で出されたアイデアをもとに行いました。また、継続して行っている「ブルーリボン運動」や小学6年生による「中学校見学会」では、東国分中学校の生徒がリーダーシップを取る姿が随所にみられ、小学生に優しく接する中学生の姿が印象的でした。

教職員間の取組としては、中学校教員によるICTを活用した「授業公開」や各教科による「教科部会」、小学校同士による教職員研修会を実施するなど、協働体制を深める活動を行いました。

今後も、東国分爽風学園では、小中一貫教育の特色を生した小中一貫教育の取組を推進していきます。



信篤三つ葉学園

今年度で3年目となる信篤三つ葉学園では、信篤・二俣地域と連携した取組や幼小中及び小中の連携を深める活動を進めています。

学校と地域が連携した取組として、信篤三つ葉学園の児童生徒が「ごみのポイ捨て防止啓発ポスター」を作成し、自治会の方に信篤公民館等に掲示してもらい、啓発活動を行いました。

幼小中の連携した取組として、市立信篤幼稚園、私立原木幼稚園、二俣小学校、信篤小学校、高谷中学校の2園3校による、大規模災害を想定した高谷中学校ブロック合同引き渡し訓練を行いました。

小中連携した取組としては、中学校の教員が小学校に出向き、国語の「哲学対話」や数学の「正の数・負の数」の授業、高谷中学校部活動見学会、高谷中学校授業公開等を行いました。

今後も、信篤三つ葉学園では、地域及び幼稚園・小学校・中学校との連携を深める取組を推進していきます。



【学校環境調整課】

教育委員交流会

いきいきと学び、輝く児童・生徒の姿 支え導く教師とともに

教育委員会では、学校の現状や児童生徒の実態、保護者や教職員の意向を把握し、市川の教育政策等に反映させていくために、教育委員が学校を訪問し、児童・生徒と交流したり、教職員から学校の様子を聞いたりしています。

今年度は、小学校7校、中学校3校に訪問しました。2校の訪問の様子を紹介します。

【教育センター】

市川市立 下貝塚中学校



生徒会役員や委員会委員長との交流会が行われました。駒委員、広瀬委員がそれぞれのグループに入り、生徒から「学校の良いところ」や「環境面で困っていること」について話を聞きました。

「下貝塚中の生徒は、元気で一人ひとりが熱意を持っている」、「行事に全力でぶつかる」など、事前に準備されていたメモには、思っていることや考えていることが多く書かれていました。



駒委員からは、「個性豊かで、元気な生徒のみなさんとお会いして、日本の未来も明るいなと思いました」、広瀬委員からは、「魅力あふれる学校なんだということが伝わってきました。未来を担う皆さんには、様々なことに挑戦し続けてほしいです」とのお言葉がありました。

「下貝塚中の生徒は、元気で一人ひとりが熱意を持っている」、「行事に全力でぶつかる」など、事前に準備されていたメモには、思っていることや考えていることが多く書かれていました。

市川市立 第三中学校



道徳の授業、「なぜ働くのか」「働くことで得られるもの」について、生徒たちの意見交流を参観しました。

授業の中で、生徒たちから田中委員に、いくつか質問が出ました。

田中委員からは、「弁護士の仕事は、自分では『違うよ』と言えない人や、『ごめんなさい』を自分で言うのが大変な人の味方になったり、手伝いをしたりする仕事です」と、生徒に分かりやすい言葉で説明されていました。

また、胸につけていた弁護士バッジ（弁護士記章）を取り、生徒たちに手渡すと、とても興味深そうに見ていました。「弁護士記章の中央には、はかりが描かれており、いろいろな人が様々な場面で公平な扱いを受けるということを意味しています」と話されていました。



特別支援学級及び

通級指導教室を開設

特別支援教育推進に係る環境整備のため、現在、市立学校に知的障がいの特別支援学級を33校、自閉症・情緒障がいの特別支援学級を13校、肢体不自由の特別支援学級を1校設置しています。

個に応じた教育的支援のニーズが高まっていることから、障がい種や地域のバランスを考慮し、令和7年4月より下記の5校に特別支援学級及び通級指導教室を開設することになりました。

特別支援学級【知的】

市川市立南新浜小学校(所在地)市川市新浜1-26-1

市川市立大町小学校(所在地)市川市大町84-10

特別支援学級【自閉症・情緒】

市川市立宮久保小学校(所在地)市川市宮久保5-7-1

通級指導教室【発達】

市川市立曾谷小学校(所在地)市川市曾谷7-18-1

市川市立二俣小学校(所在地)市川市二俣678

【義務教育課】

保護者が学び合う場～家庭教育学級～

家庭教育学級とは、「保護者が学び合う場」です。

「防犯について学びたい」

「スマホっていつから持たせる？」

「性教育ってどう教えたらいいの？」

など、保護者の方々のニーズも様々です。

こういった、ニーズに応えるために当課指導員による「アウトリーチ型」講座を多く開催しています。



福栄中学校
「思春期・高校受験について」

鶴指小学校

「ゆとりぎの先生も交えて座談会」



講座に対する保護者の感想

・子供にとっても私自身にとっても興味深い内容でした。

スマホの利用についてこれからも考えていかないといけない内容なので、子どもともよく話し合ってルールを決めたいと思います。

・毎日のせまい世界から一歩外へ出て、いろんなことを客観視でき、大変有意義な時間だった。

皆様の学校でもぜひ指導員講座をご活用ください!!

夏には「家庭教育講演会」を行っています。

令和6年度は、「親子の絆を育むメディアリテラシー」をテーマに講師の先生をお招きして開催しました。「保護者の学びの場」として、ぜひご参加ください。

【学校地域連携推進課】

教育功労者表彰

※敬称略

教育功労者の表彰は、教育、
学術又は文化の振興などに
関し、特に功績の顕著であった
個人又は団体を表彰するもの
です。
受賞された皆様、
おめでとうございます。
【教育総務課】

福地 かがり	市川市立真間小学校 校長
奥田 淳	市川市立中山小学校 校長
鈴木 康治	市川市立第一中学校 校長
杉山 哲	市川市立第二中学校 校長
牧 雅英	市川市立大洲中学校 校長
田代 美香絵	市川市立塩焼幼稚園 園長
石井 寛子	市川市立富貴島小学校 教諭
石森 義郎	市川市立塩焼小学校他 学校医
星 慎一	市川市立八幡小学校他 学校医
石井 広志	市川市立宮久保小学校他 学校歯科医
青野 匡宏	市川市立南行徳幼稚園他 学校薬剤師

令和6年度
教育実践記録論文
表彰式・発表会

教育実践論文 いぶき

教育実践記録論文「いぶき」は、教育実践をまとめることが自己研鑽となり、教職員の資質・能力の向上につながるとして、昭和54年に始まり、今年度で46年目となります。
今年度は、一般部門9編、フレッシュ部門5編の合計14編の応募がありました。どの論文も、児童生徒の姿に向き合い、課題の改善に向けて取り組まれた先生方の熱意を感じました。
若年層の先生方をはじめ、市内の先生方と優れた実践を共有し、教職員の資質・能力の向上に寄与したいと考えています。
【教育センター】

一般部門	賞	学校名	応募者	教科等	研究テーマ
	最優秀賞	大和田小学校 国府台小学校 菅野小学校 柏井小学校 新井小学校 信篤小学校 福栄中学校 大洲中学校	池田 文乃 槇峰 真紀子 不老 明日華 白鳥 浩子 平沢 文恵 浅見 唯 赤羽 知里 七星 佳世子	健康教育	養護教諭が行う「不登校・不登校傾向」児童生徒支援の可視化の試み ～個別支援記録シートと事例検討会の有効性の検討～
	優秀賞	市川小学校	時田 裕	国語	ICT機器を活用した書評文執筆の実践について —『魔女の宅急便』シリーズからテーマを見つけて(6年)—
	優秀賞	塩焼小学校	川口 麻衣子	情報教育	自分の思いを豊かに表現できる子の育成 ～国語科におけるICT活用を通した伝える力の向上～
	優良賞	第五中学校	荒井 克典	教育相談	「校内教育支援センターの支援と成果」 ～2校14年を振り返る～
	優良賞	第二中学校	溝口 浩司	その他	「自己決定できる主体的な学び」による『学びに向かう力』の育成を目指して ～AARサイクルを基軸にした単元テストと理科の授業とを連動した取組から見てきたこと～
	奨励賞	百合台小学校	大野 沙央理	国語	自立した読み手の育成 ～国語科の学習を通した不読率の低減を目指して～
	奨励賞	国分小学校	塚田 いつか	学級経営	対話を通して非認知能力を育てる 学校教育目標達成に向けた学級での取り組み
	奨励賞	平田小学校	高橋 由子	学級経営	人間関係を構築し、楽しく学べる学級集団づくり ～オリジナルキャラクターを活用して～
	奨励賞	菅野小学校	皆川 文央	情報教育	新しい社会を生き抜く子どもたちへのICT機器を活用した学校教育の推進
フレッシュ部門	賞	学校名	応募者	教科等	研究テーマ
	優秀賞	菅野小学校	濱野 稜平	総合的な学習の時間	共に生きる菅野っ子を目指した総合的な学習の時間 ～総合的な学習の時間を通した児童の主体性の育成とその手立て～
	優秀賞	菅野小学校	若林 健太	学級経営	This is me!! ～互いの個性を認め合える学級を目指して～
	優良賞	中国分小学校	石井 清弘	外国語	「個別最適な学び」を取り入れた外国語科における授業実践 ～ICTの効果的な活用を通して～
	奨励賞	菅野小学校	千葉 達也	情報教育	子供に興味関心を持たせるICT活用
	奨励賞	信篤小学校	原 直也	算数・数学	算数科における自分の考えを表現できる子の育成

子どもも大人も楽しく体験 ～コミュニティクラブ～

「学校や家庭では、
なかなかできない体験を
たくさんさせてあげたい」



コミュニティクラブでは、「みんなで子どもたちを みんなでボランティア」を合言葉に、遊びを通じて子どもたちの健全育成、地域のコミュニティづくり、生涯学習社会の創造を目的としています。中学校の学区をもとにして、16ブロックでボランティアの方々が地域の特性や専門性を活かして様々な活動を行っています。

上の写真は、南行徳中ブロックコミュニティクラブで行われた太巻き祭り寿司教室の様子です。

講師の方をお招きして、千葉県伝統料理でもある太巻き祭り寿司に込められている思いや作り方について教えていただきました。

太巻き祭り寿司を初めて作った子どもたちが多くいましたが、とても楽しそうに取り組んでいました。

各ブロックの活動については、市公式Webサイト内にある「遊びの情報」をご覧ください。

コミュニティクラブでは、活動の企画・運営や、当日のお手伝いをしていただくボランティアの方々も募集しています。参加をしてみたい方は、学校地域連携推進課までご連絡ください。

【学校地域連携推進課】

市公式HP「遊びの情報」

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/edu10/1111000001.html>



次世代のリーダーに必要なスキルを学ぼう！ わんぱくセミナー

わんぱくセミナーは、市内在住、在学の小学5・6年生を対象とした、地域の青少年リーダーを目指す第1歩としての講習会です。

この講習会では、ユースリーダー（地域の中学生・高校生）と一緒に、少年自然の家でのデイキャンプや体育館でのレクリエーション等を行います。

野外炊事やグループ対抗のレクリエーションなどを通して、仲間と協力することの楽しさや難しさを知ることができる講習会です。最初は緊張した表情で一人で会場へきた受講生も、すぐに他の学校の友達と打ち解け、仲良くなって帰っていきます。

今年は、5月初旬に広報いちかわ等で受講生を募集します。ご興味のある方はぜひお申し込みください。

【青少年育成課】

収蔵庫とは、博物館で展示されていない資料を保管する部屋のことです。展示等で表に出ない時は基本的にここで管理しており、市川歴史博物館の資料もほとんどは収蔵庫にあります。

当館は開館から40年以上が経ち、収蔵資料も増えました。近年、様々な博物館の収蔵庫が資料で満杯になる状況が課題とされていますが、開館40年以上の当館も同じ状況です。

この現状を打破するため今年度から國學院大學観光まちづくり学部を中心とした学生の協力のもと、収蔵庫整理を開始しました。作業内容は、当館収蔵庫で保管する民俗資料の清掃・状態確認・記録・写真撮影で、今年度は水車などの大型資料と製塩道具から着手しました。



歴史博物館で、
収蔵庫整理を実施しました
「後世に伝え残す」

主な流れとして、まず資料を作業室へ運び出して清掃します。資料の様子を見ながら適したブラシや掃除機を用いてホコリ等を丁寧に取り除きます。

次に状態確認作業です。中には収蔵庫で長く眠る資料もあるため、現在どのような状態なのか（展示等は可能か、収蔵した当時からどんな変化があるのか）を確認し、記録します。

最後に写真撮影をして、全ての資料を収蔵庫へ戻していきます。戻す際にはその資料を収蔵庫のどこに入れたか必ずわかるようにしないと行けません。

モノそれぞれに、
かけがえのない歴史あり。



このようにして当館の収蔵庫整理は開始されました。民俗資料とはいわゆる「普通の人々」が残した、暮らしの歴史です。

使い方を知りたい場合や授業等で活用したい場合はお気軽にご相談ください。

【歴史博物館】